

# 令和5年度 授業研究推進 校内研修報告

## 1 テーマ

「ユニバーサルデザインの視点を生かした授業の実践」

## 2 目的

- ①支援を要する生徒の理解と対応を土台とし、全ての生徒が学びを深める授業を考える
- ②ICTを活用した授業の仕方を学び、主体的・対話的で深い学びの実践を考える

## 3 日時

第1回	7月12日(水)	5校時	講師	大田区ICT教育推進専門員
第2回	12月20日(水)	5校時	講師	東調布中学校スクールカウンセラー
第3回	2月14日(水)	5校時	講師	東調布中学校スクールカウンセラー

## 4 内容のポイント

- 第1回 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現する。そのため、自主的に課題を見つけ、他者の意見を聞いて自ら再考する協働的な学びにつなげるためのICTの活用方法を学んだ。
- 第2回 生徒自身がICTを自由な発想で活用するための環境整備、授業デザインを行う。そのため、生徒が主体的に参加しようとする授業展開、視覚刺激が最小化された教室の環境整備、生活の流れをパターン化するルールづくりの工夫について学んだ。
- 第3回 様々な配慮が必要な生徒に対するきめ細やかな支援、個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会を提供する。そのため、支援があればできる発達の最近接領域を見極め、同時処理を必要とする時間を減らし、ICTを積極的に活用する重要性について学んだ。

## 5 まとめ

全ての生徒が安心して主体的に参加し、分かる・できる授業を目指して、「焦点化・視覚化・共有化」の3つポイントを踏まえて授業設計することの大切さを学んだ。また、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現するため、ICTの特性を生かして学習効果を増大させるための方法について学んだ。今後の課題は、ICT活用に向けた教師の資質向上と教育的支援が必要な生徒への対応の充実を更に図っていくことである。